

お知らせ

◆周作クラブ文学セミナー／2018

5月に行われる「遠藤文学・原点の旅」(加賀会長と訪ねるペトロ・岐部、大友宗麟ゆかりの地、大分)のためのセミナーです。今回は、高橋千劍破・加藤宗哉幹事が大分について語ります。
日時 4月14日(土) 14時30分から
会場 慶應義塾大学(三田)
南校舎3階「萬来舎」
〒031345315661
JR、地下鉄「三田」駅下車
会費 1500円(飲物代とも)
※事前の申込は必要ありません。なお、終了後に懇親会が予定されています。

◆第19回遠藤文学・原点の旅
「加賀乙彦会長と訪ねるペトロ岐部、大友宗麟ゆかりの地、大分」
日時 5月19日(土)〜21日(月)
※詳細は本報15ページに掲載。

◆『遠藤周作全日記 1950—1993』
刊行延期のお知らせ
『遠藤周作全日記 1950—1993』につきましては、二〇一八年一月下旬の刊行に向け、鋭意進行して参りましたが、諸般の事情により二〇一八年五月下旬に刊行を延期することと致しました。心より深くお詫び申し上げます。

お時間を頂戴致します分、より一層渾身の力を注ぎ、取り組んで参りますので、引き続きご高配頂ければ幸甚に存じております。何卒宜しくお願い申し上げます。
河出書房新社 編集部 太田美穂

◆井上洋治神父帰天四周年命日祭・シンポジウム
日時 3月4日(日)
13時〜14時
井上洋治神父帰天四周年命日祭・南無アツバの集い
14時30分〜16時30分
シンポジウム「井上神父とドストエフスキー—東方キリスト教を中心に」

基調トーク 安岡治子(安岡章太郎長女、東京大学大学院教授)
パネリスト 山根道公・伊藤幸史・山本芳久・山根息吹
場所 四谷・幼きイエス会
〒031326110825
参加費 無料
申込不要・問合せ 風編集室
〒086122715665

◆『風』106号『沈黙』原作と映画・特集 II』刊行のお知らせ
原作者の『沈黙』に込めた思い—原題「日向の匂い」に照らして／映画「沈黙—サイレンス—」を見て／遠藤周作の「志」を受け継いだスコセッシ監督

市議会への請願で全国から7000筆を超える署名が寄せられることは稀であり、そのことが少なからず議員諸氏の心を動かしたようです。周作クラブの皆様のお力添えに、改めて深くお礼を申し上げます。審議の模様は町田市議会のHPから録画で確認することができま

市議会への請願で全国から7000筆を超える署名が寄せられることは稀であり、そのことが少なからず議員諸氏の心を動かしたようです。周作クラブの皆様のお力添えに、改めて深くお礼を申し上げます。審議の模様は町田市議会のHPから録画で確認することができま



雪に覆われた遠藤周作文学館

督・・・山根道公／鼎談 遠藤周作『沈黙』と井上洋治『日本とイエスの顔』
—根底にある東西の思想をめぐって・・・山根道公×山本芳久×若松英輔／苦しみの意味—『沈黙』と私の体験・・・竹原陽子／小説『沈黙』の肝、「切支丹屋敷役人日記」を読む・・・兼子盾夫／遠藤周作『沈黙』における同伴者への「渇き」・・・山根息吹
他誌代 1000円
申込詳細 風編集室
〒086122715665

＊編集後記＊

▼一ページ目のコスモスのカラー写真きれいですね。遠藤周作文学館のコスモスの咲く秋、ぜひ行きたいですね。コスモスは漢字で書くと「秋桜」です。文学館の荒地をコスモス畑にした北村沙緒里さんと館長に、心から喝采です。

▼今号の会報は70号です。年4回の発行ですから第1号から18年を経たことになります。加藤宗哉さんは第1号から、小生は第2号に原稿を書いています。編集人になったのは第7号からです。

▼宮辺尚さんの連載「劇団樹座の三十年」いよいよ佳境です。何とニューヨークでの公演。主役や脇役がぐるぐると代わる舞台に、観客もビックリ。大成功のようでした。これに味を占めて(?)次はロンドン公演というのですから、どうなることやら。もつとも「樹座」のモットーは、「演る人天国、観る人地獄」です。
▼原山建郎さんの「遠藤ボランテア」の報告。35年の運動はすごいですね。(観)

「周作クラブ」第70号 2018年2月発行

- 発行人 加賀 乙彦
 - 編集人 高橋千劍破
 - 副編集人 田村百合子
 - この号の編集者
 - 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、南紀洋子
- 発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」
TEL 080-1097-1979
FAX 03-3421-1521

●次回の会報発行は6月の予定です。